

がっこうぼうさいかつどうきょてん 学校防災活動拠点の活動紹介

学校防災活動拠点は、「情報拠点」と「地域活動拠点」の機能を併せ持った避難所です。

災害時、地域に密着した対応を最も早くおこなえるのは、地域の住民（避難者）です。災害発生直後は、地域間の相互応援により救助・救護、避難誘導、消火活動等を展開し、一定の時間経過後は、地域間の協力のもとで、在宅避難者の見守りや地域の防犯活動などを出来る範囲でおこないます。毎年自治町会員が集まり、会議や訓練をしています。

災害時には自治町会員だけでなく、避難者全員が支え合い学校防災活動拠点を運営していくことが大切です。



情報伝達訓練の様子



発電機使用訓練の様子

略して YBT やぐち ぼうさい とーく Yaguchi Bousai Talk

～YBT第1号～

矢口地区の防災情報紙として年2回発行予定です。防災に関する最新情報や地域情報を掲載しますので、災害に備えてご活用ください。



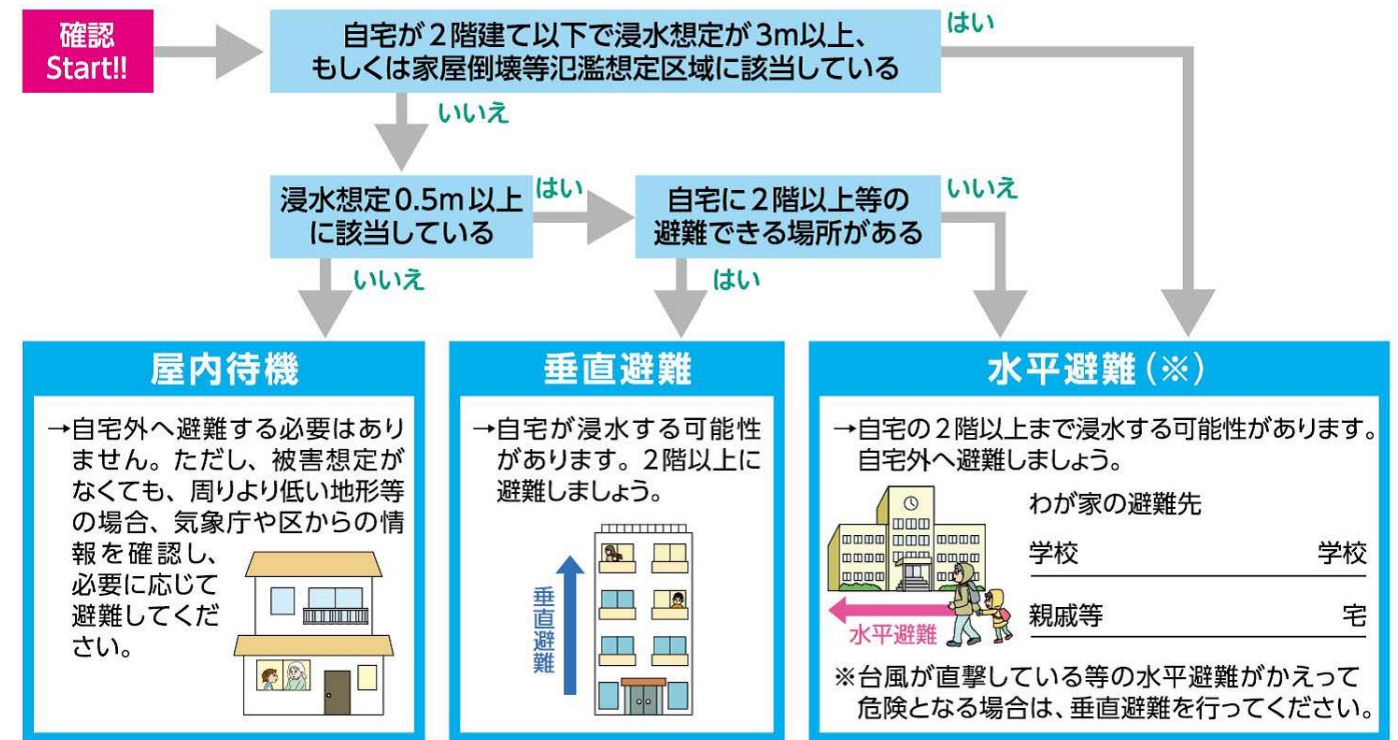
矢口地区の特性

矢口地区は、多摩川に面し、自然を身近に感じることができる環境が特徴ですが、地理的要因や低地部に位置していることから多摩川の氾濫や高潮被害という自然災害のリスクが高いという特徴もあわせ持ちます。豊かな自然と共に生活していくために、矢口地区の水害リスクを知り、自分を守る方法を確認しましょう。



令和元年台風19号のときの多摩川

下のフローチャートを確認し、自身の避難方法を検討しましょう。



ハザードマップ（風水害編）から抜粋

7月1日から防災情報の収集が便利になりました！

大田区の防災情報システムと連携して避難所の開設・混雑状況や避難発令情報等をリアルタイムにお知らせします。

大田区防災ポータル



詳細はこちら



防災ポータルサイトと防災アプリ

備蓄品ビンゴ

家にあるものでビンゴを目指そう

めざせ8ビンゴ！

① 食糧 (最低3日分) 普段購入しているものを多めに買い置きするだけで立派な備蓄になります。 	② 飲料水・生活用水 調理用を含め一人一日3ℓ程度あれば安心です。 	③ 備蓄用トイレ ビニール袋を2～3重にして吸水用に新聞紙などを入れれば簡易トイレになります。
④ 活動用品 ロープ、軍手、懐中電灯、ライター、マッチなど 	⑤ 生活用品 ティッシュやタオル、トイレトーパーなど 	⑥ 衛生用品 常備薬や生理用品、眼鏡、マスクなど
⑦ 電池やモバイルバッテリー 	⑧ カセットコンロガスボンベ カセットコンロを備えておけば簡単な炊飯や調理ができます。 	⑨ ラジオなど情報機器 手回しラジオがあれば電気がなくても情報収集できます。

次回（令和4年1月）の発行に向け、記事にしてほしい内容がありましたら、

矢口特別出張所までご連絡ください。

矢口特別出張所 ☎ 3759-4686 FAX 3759-1492



水害時の避難場所は

住所によるエリア分けがありません！

水害時は地震災害時と違い、右の地図にある多摩川小学校を除くすべての避難所に避難できます。もちろん、右の地図にのっていない、より安全なところに避難するという判断もできます。

自宅の浸水深を確認しましょう！ より安全なところを確認しましょう！

大田区が発行しているハザードマップ風水害編で浸水深を確認することができます。自宅の浸水深を事前に確認しましょう。また、自宅より安全な場所と避難したい場所を事前に確認しておきましょう。

ハザードマップはこちら
出張所の窓口でも配布しています。

マイノート

- 自宅の浸水深は、 _____ m
- 避難の方法は、
(親せき宅へ避難・垂直避難・緊急避難場所へ避難)
- 近くの緊急避難場所は _____

警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難を！

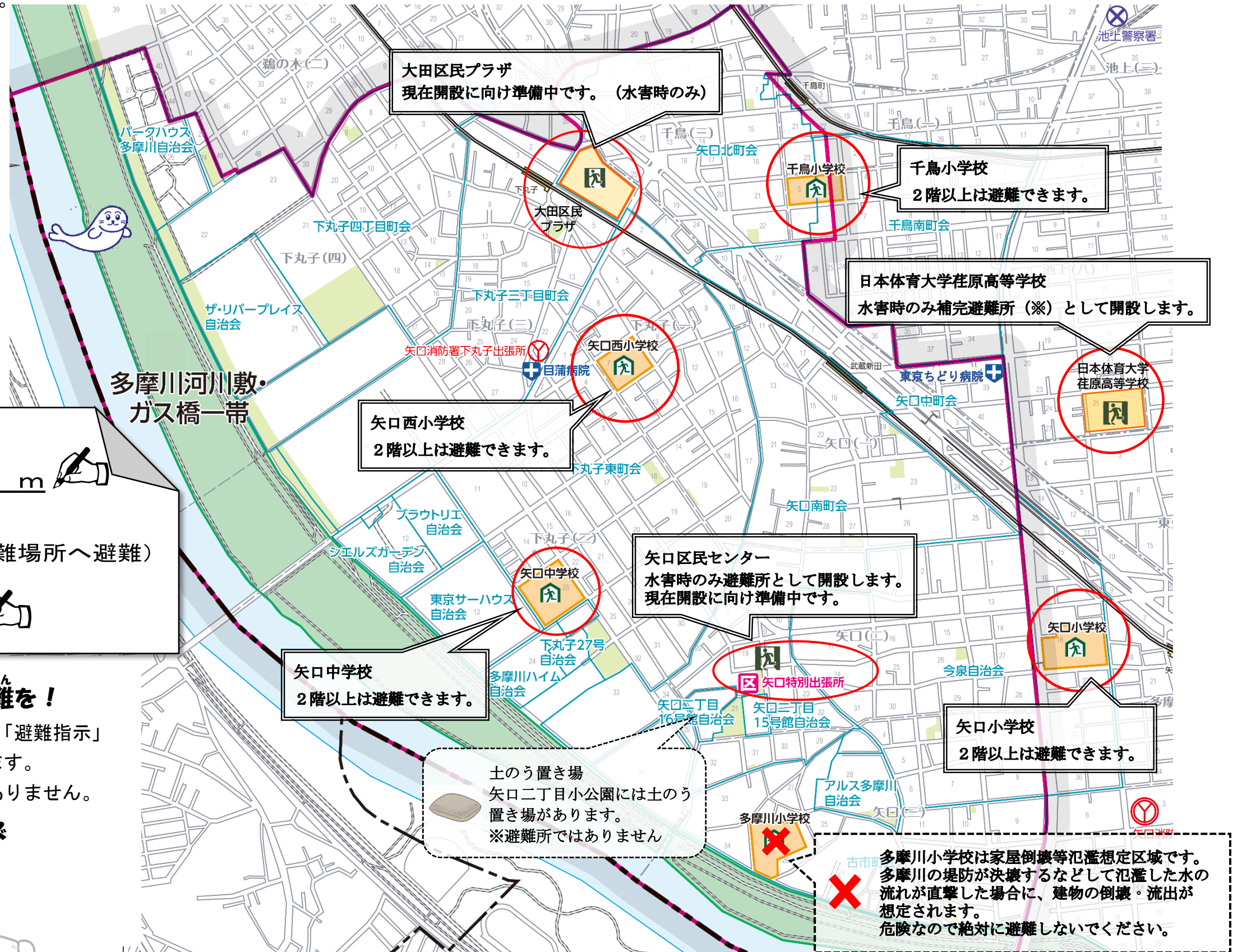
令和3年5月20日から「避難勧告」は廃止され、「避難指示」に一本化されました。全員が安全な場所へ避難します。自宅が安全な方は無理に避難所に避難する必要はありません。

避難所へ持参してほしいおすすめグッズ

避難所に備蓄できる数には限界があります。避難者全員のご協力をお願いします。



す い が い じ きんきゅうひなんばしよ 水害時 緊急避難場所



※補完避難所とは、近隣避難所が満員になった場合に開設される避難所です。

多摩川小学校は家屋倒壊等氾濫想定区域です。多摩川の堤防が決壊するなどして氾濫した水の流れが直撃した場合に、建物の倒壊・流出が想定されます。危険なので絶対に避難しないでください。